

地方創生（加速化、推進）交付金 充当事業の平成28年度実績調書

No.	1		
総合戦略	97頁		
① 事業名称	コンテンツ産業振興事業		
② 市の予算決算事業名称	コンテンツ産業振興業務		
③ 平成28年度の事業概要・実績(評価対象)	<p>前年度の先行型交付金による調査結果等を踏まえつつ、コンテンツ産業の需給両面から、【認知拡大】→【関心喚起】にかけての施策展開を実施した。</p> <p>具体的には、松戸コンテンツ事業者連絡協議会によるスマートフォン向けのものづくりの楽しさを体験できるゲームコンテンツを2作品制作し、東京ゲームショウやコミックマーケットに出展した。</p> <p>また、松戸市の創作環境等をまとめたパンフレットを制作し、コミックマーケットで3万5千サークルに配布した。</p> <p>その他、【関心喚起】のため、コミックマーケットでの税務相談、VR体験イベントの実施、市内大学生向けの3DCG講座、トップクリエイターによるトークセッション、小学生を対象とした3DCGワークショップを実施した。</p> <p>さらに、平成28年11月には、本市の「コンテンツ産業」が中小企業地域資源活用促進法に基づく地域資源として指定された。</p>		
④ 交付金充当額	38,000,000 円（交付は対象事業費の全額）		
⑤ 重要業績評価指標(KPI)	KPIの名称		実績値
	協議会加盟事業者数(事業者)	目標値	当初 (H27年度末) 9
		終了時 (H28年度末) 20	終了時 (H28年度末) 19
	協議会加盟事業者就業者数(人)	目標値	当初 (H27年度末) 100
		終了時 (H28年度末) 150	終了時 (H28年度末) 146
	コンテンツ産業の市内での粗利益の増加率(経済センサス及び協議会加盟事業者への調査により計測)(%)	目標値	当初 (H27年度末) (基準)
終了時 (H28年度末) 2.6		終了時 (H28年度末) 209.8	
コンテンツに係る創作等に取り組む市民の数の増加率(Webアンケート調査により計測)(%)	目標値	当初 (H27年度末) (基準)	
	終了時 (H28年度末) 5.0	終了時 (H28年度末) ▲6.4	
⑥ その他のデータ	松戸コンテンツ事業者連絡協議会の取り組みの認知度は、主要都市を対象にしたインターネットアンケートによると約3.2%が認知しており、「本業でコンテンツ産業に関わっている」では25.7%が認知している結果になった。		
⑦ 事業効果 (注) 事務局の案です。 (注) 選択肢の内容は、内閣府が指定したものです。	1 地方創生に非常に効果的であった		
	② 地方創生に相当程度効果があった		
	3 地方創生に効果があった		
	4 地方創生に効果がなかった		
⑧ 有識者懇談会での意見 (注) 懇談会に出席される皆様から意見を頂戴したい部分です。 (注) 選択肢の内容は、内閣府が指定したものです。	1 総合戦略のKPI達成に有効であった		
	2 総合戦略のKPI達成に有効であったとは言えない (自由意見)		
⑨ 平成29年度の状況 (注) 選択肢の内容は、内閣府が指定したものです。	① 追加等さらに発展		【説明】 【認知拡大】から【関心喚起】への移行を重視し、昨年度、効果の高かった【認知拡大】のためのコンテンツ関連イベントを継続しつつ、【関心喚起】のための人材育成、クリエイター支援の取り組みを実施する。
	2 事業内容の見直し(改善)		
	3 事業の継続		
	4 事業の中止		
	5 予定どおり事業終了		
⑩ 平成29年度の実績	<p>【認知拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミックマーケット92及び東京ゲームショウ2017出展 <p>【関心喚起】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップクリエイターによるトークセッション2回開催 ・伊勢丹松戸店にて「こどもデジタルフェスタ」を開催 ・コミックマーケット92参加全サークルへの松戸の創作環境の良さをPRするパンフレットの配布 ・コンテンツの一大消費地の秋葉原との連携を強化するために、秋葉原を拠点に活躍するアイドルグループ「仮面女子」の月野もあを「松戸コンテンツPR大使」に起用 		

No.	1
総合戦略	97頁
事業名称	コンテンツ産業振興事業
<p>⑪ 平成27年度事業との相違点</p> <p>※ 平成28年度事業が、平成27年度事業と比べて <u>目標、効果、特徴等</u>に、どのような違いがあるか。</p>	<p>平成27年度は、コンテンツ産業に関する調査と調査結果に基づいた事業を実施する施策の展開方法及び体制(=松戸コンテンツ事業者連絡協議会の設立)の構築を行った。</p> <p>※施策の推進 供給者(コンテンツ事業者)・需要者(コンテンツの消費者やコンテンツを発注したい法人等)の両方の観点から、1. コンテンツ産業が盛んな街としての【認知拡大】→ 2. 市内に移住・移転したいと思うような【関心喚起】→ 3. 市内での起業・創業の【行動促進】の3つのフェーズでの入口から出口までの事業展開を進めた。</p> <p>平成28年度は、前年度の調査結果に基づいた事業の実施として、コンテンツ産業の需給両面に認知の拡大を図るため、ゲームコンテンツの創作・発信等を行った。 効果として、主要都市を対象としたインターネットアンケートによると「本業でコンテンツ産業に従事している人」の松戸コンテンツ事業者連絡協議会の認知度は、25.7%に達した。</p>
<p>⑫ 平成29年度事業の相違点</p> <p>※ 平成29年度事業が、平成28年度事業と比べて <u>目標、効果、特徴等</u>に、どのような違いがあるか。</p>	<p>【認知拡大】から【関心喚起】への移行を重視し、平成28年度、効果の高かった【認知拡大】のためのコンテンツ関連イベントを継続しつつ、【関心喚起】のための人材育成、クリエイター支援の取り組みを実施する。</p> <p>また、松戸に移住・定住や起業・創業を促す【行動促進】の取り組みとして、同業他社や異業種とのマッチングを支援する取り組みを開始する。</p>

地方創生（加速化、推進）交付金 充当事業の平成28年度実績調書

No.	2			
総合戦略	95頁			
① 事業名称	誰もが創造的に働くためのフューチャーセンター事業			
② 市の予算決算事業名称	課題解決人材育成業務			
③ 平成28年度の事業概要・実績(評価対象)	<p>フューチャーセンターを活用し、多様な関係者が集まり未来志向の対話を通して、「誰もが創造的に働く」ことについて多面的に考えるセッションを実施する。</p> <p>行政の参加主体は、セッションの中で、参加者のニーズ、民間企業の状況、他部門の施策展開を理解し、新たな支援策を創造したり、既存の支援策のブラッシュアップに関する気付きを得たりする。また、誰もがその才能を十分に発揮できる環境を整えるための支援策を立案し、各主体にて支援策を実施する。</p> <p>さらに、セッションで生み出されたアイデアや取組のプロセスについて、多くの人に活用してもらえるよう広く情報発信を行う。</p> <p>【実績】</p> <p>① 企画会議【全12回】</p> <p>② ワーキング会議【全3回】</p> <p>③ プロジェクト会議【全16回】</p> <p>④ 職員向け研修【全3回】</p> <p>⑤ 報告冊子『MATSUDO FUTURE CENTER2016』作成</p> <p>・企画運営支援業務委託 2,980,000円</p> <p>・セッション支援業務委託 2,950,000円</p> <p>・運営スタッフ育成業務委託 1,900,000円</p> <p>・備品購入費 945,000円</p> <p>・消耗品費 535,000円</p> <p>・食糧費 69,000円</p>			
④ 交付金充当額	9,379,000 円 (交付は対象事業費の全額)			
⑤ 重要業績評価指標(KPI)	KPIの名称		目標値	実績値
	創業支援セミナーの参加者数(人)			当初 (H27年度末) 0
		終了時 (H28年度末)	5	終了時 (H28年度末) 26
	セッションによって改善もしくは作られた施策の数(施策)			当初 (H27年度末) 0
		終了時 (H28年度末)	3	終了時 (H28年度末) 3
	女性の就業割合(%)			当初 (H27年度末) 61.9
		終了時 (H28年度末)	63	終了時 (H28年度末) 66
20代の完全失業率(Webアンケート調査により計測)(%)			当初 (H27年度末) 8.3	
	終了時 (H28年度末)	国勢調査結果値	終了時 (H28年度末) 国勢調査結果値	
⑥ その他のデータ				
⑦ 事業効果 (注) 事務局の案です。	1 地方創生に非常に効果的であった			
	② 地方創生に相当程度効果があった			
	3 地方創生に効果があった			
	4 地方創生に効果がなかった			
⑧ 有識者懇談会での意見 (注) 懇談会に出席される皆様から意見を頂戴したい部分です。	1 総合戦略のKPI達成に有効であった			
	2 総合戦略のKPI達成に有効であったとは言えない (自由意見)			
⑨ 平成29年度の状況 (注) 選択肢の内容は、内閣府が指定したものです。	① 追加等さらに発展		【説明】★ 29年度から交付金を受けず、市独自の事業として実施 マスタースケジュールに則り、平成28年度セッションを通じて出された81のアイデアについて、課題や現状の取組などを改めて振り返り、新たな視点も加えながら多角的に検証・ブラッシュアップし、事業化に向けて企画案を作る。	
	2 事業内容の見直し(改善)			
	3 事業の継続			
	4 事業の中止			
	5 予定どおり事業終了			
⑩ 平成29年度の実績	企画会議の実施(4回)、ワーキング会議の実施(4回) ※ 8月末現在			

No.	2
総合戦略	95頁
事業名称	誰もが創造的に働くためのフューチャーセンター事業
<p>⑪ 平成27年度事業との相違点</p> <p>※ 平成28年度事業が、平成27年度事業と比べて 目標、効果、特徴等に、どのような違いがあるか。</p>	<p>平成27年度は、フューチャーセンター構築事業として、対話を促進するための運営方針や部屋の整備を進めるとともに、創造性豊かな若者と女性がその才能を十分に発揮できる労働環境を整え、本人が自分の能力に気付き、適切な職業・会社選択を行い、やりがいを持って働いていくためのフューチャーセッションを行った。</p> <p>平成28年度は、テーマ対象にシニアを加えて、27年度に構築したフューチャーセンターを活用し、女性・シニア・若者を対象にした「誰もが創造的に働く」ことをテーマに取り組んだ。</p> <p>イノベーションの手法としてはデザイン思考、対話の手法としてはホールシステムアプローチを主に用い、市民の視点から問題を捉えるため、インタビューや意見交換会、市民・行政・民間事業者・NPO法人等の多様な主体が一同に会するセッションを実施した。</p> <p>当事者である参加者自身に考えてもらう機会が多かった27年度とは異なり、28年度は当事者を支援する立場の団体や行政等が実行主体となりような施策について300以上の新しいアイデアが創り出された。</p> <p>そのうち81のアイデアについては、より詳細にコンセプト作りを行った。アイデアの中には、既存の支援策をブラッシュアップすることでニーズを満たせるものもあり、支援を行っている団体や行政等の参加者にとって多くの気づきを得る取り組みとなった。</p> <p>また、これまでの取り組みを『MATSUDO FUTURE CENTER2016』として冊子にまとめ、アイデアや取り組みについて多くの人に活用してもらえるよう、内容を公開し、広く情報発信を行った。</p> <p>目標については、新たに、「セッションによって改善もしくは作られた施策の数」が設定されたことで、より実践的で具体的なアイデアの創造につながった。</p>
<p>⑫ 平成29年度事業の相違点</p> <p>※ 平成29年度事業が、平成28年度事業と比べて 目標、効果、特徴等に、どのような違いがあるか。</p>	<p style="text-align: center;">/</p>

地方創生（ 加速化、 推進 ） 交付金 充当事業の平成28年度実績調書

No.	3		
総合戦略	87-88頁		
① 事業名称	松戸市介護人材育成のための事業		
② 市の予算決算事業名称	介護人材育成業務		
③ 平成28年度の事業概要・実績(評価対象)	<p>介護保険施設等に委託を行い、介護職に携わりたいが無資格である者を有期雇用し、施設等において介護技術等の指導・訓練を行った。 併せて正規雇用に向けた支援を行うことにより、松戸市内の介護保険施設等における人材不足の解消に努めた。</p> <p>・委託事業所数 10事業所 ・採用人数 14人 ・正規雇用人数 9人</p>		
④ 交付金充当額	5,381,525 円 （交付は対象事業費10,763,050円の2分の1）		
⑤ 重要業績評価指標(KPI)	KPIの名称		実績値
	介護人材育成事業参加者で介護職員初任者研修修了者のうち、市内介護福祉施設や市内介護事業所に正規雇用された人数(人)	目標値	当初 (H27年度末) 13
		現状 (H28年度末) (累計)25	現状 (H28年度末) (累計)22
		終了時 (H30年度末) (累計)40	
	介護人材育成事業参加者の介護職員初任者研修の修了率(%)	目標値	当初 (H27年度末) 93.8
		現状 (H28年度末) 90	現状 (H28年度末) 78.5
		終了時 (H30年度末) 90	
正規雇用後の定着率(%)	目標値	当初 (H27年度末) 69	
	現状 (H28年度末) 35	現状 (H28年度末) 89	
	終了時 (H30年度末) 35		
⑥ その他のデータ			
⑦ 事業効果 (注) 事務局の案です。	1 地方創生に非常に効果的であった		
	② 地方創生に相当程度効果があった		
	3 地方創生に効果があった		
	4 地方創生に効果がなかった		
⑧ 有識者懇談会での意見 (注) 懇談会に出席される皆様から意見を頂戴したい部分です。 (注) 選択肢の内容は、内閣府がこれまで指定しているものです	1 総合戦略のKPI達成に有効であった		
	2 総合戦略のKPI達成に有効であったとは言えない (自由意見)		
⑨ 平成29年度の状況 (注) 選択肢の内容は、内閣府がこれまで指定しているものです。	1 追加等さらに発展		【説明】
	2 事業内容の見直し(改善)		
	③ 事業の継続		
	4 事業の中止		
	5 予定どおり事業終了		
⑩ 平成29年度の実績	・事業申込書の受付 申込事業所:28事業所		

No.	3
総合戦略	87-88頁
事業名称	松戸市介護人材育成のための事業
<p>⑪ 平成27年度事業との相違点</p> <p>※ 平成28年度事業が、平成27年度事業と比べて <u>目標、効果、特徴等</u>に、どのような違いがあるか。</p>	<p>● 契約内容の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託先法人の事務の簡略化のため、 「総価契約」→「単価契約」へ変更した。 ・ 1日あたりの単価を、「10,425円」→「11,030円」(直接採用) 「11,425円」→「11,960円」(市機関採用) へ増額した。 ・ 「正規雇用に至らなかった場合、委託料を20%減額」 → 「正規雇用した場合、5万円の加算」 へ仕様を変更した。
<p>⑫ 平成29年度事業の相違点</p> <p>※ 平成29年度事業が、平成28年度事業と比べて <u>目標、効果、特徴等</u>に、どのような違いがあるか。</p>	<p>● 事業開始時期の変更</p> <p>平成28年度は「8月に事業を開始」 → 平成29年度は「4月に事業を開始」</p>